

日本分子生物学会 若手教育シンポジウム

●日時: 2010年12月8日(水) 11:45~13:00 ●会場: 国際会議室 400席
(神戸国際会議場3階)

※お弁当には限りがありますので、12月8日(水)午前8時より、バイオテクノロジーセミナーデスク
(神戸国際展示場3号館「展示会場」入口)にて「参加整理券」を発券します。

若手教育ランチョンセミナー 2010 司会: 上村 匡 (京都大学)、白髭 克彦 (東京大学)

あなたの解釈は大丈夫? 統計解析と研究ルール -

若手教育シンポジウムは今回で第4回目をむかえました。
これまで、研究不正の実例や背景、データ提示に関する方法論
などについてのレクチャーやパネルディスカッションを行って
参りました。今年も、昨年同様2部形式のランチョンセミナーとし、
前半ではみなさまからの要望が多かった統計解析を、後半では研究ルール
(オーサーシップやマテリアル権利の取り扱いなど)をテーマとして取り上げ、
聴衆参加型レスポンスシステム「クリッカー」を利用しながらみなさまと
一緒に考えたいと思います。お弁当も用意いたします。皆様のご
参加をお待ちしております。

(聴衆参加型レスポンスシステム導入)

※会場の皆様には「クリッカー」をお配りし、皆様のご意見をリアルタイムに前方画面に表示します。

第一部: 講演 (30分)

「科学的実験と統計的実験の境界」



手良向 聡

(京大病院探索医療センター検証部)

第二部: 聴衆参加型パネルディスカッション (40分)

「研究ルールについて考える」

パネリスト: 日本分子生物学会・若手教育問題ワーキンググループ



上田 泰己
(理化学研究所)



上村 匡
(京都大学)



後藤 由季子
(東京大学)



小林 武彦
(遺伝研)



塩見 美喜子
(慶應大学)



白髭 克彦
(東京大学)



水島 昇
(東京医科歯科大学)

主催: 特定非営利活動法人 日本分子生物学会

協賛: チエル(株)、(株)学研メディカル秀潤社